



## 国家資格に係る登録講習機関での講習概要

---

株式会社スカイピーク / 2023年2月16日開催

# CONTENTS

---

- 01 スカイピークとは
- 02 国家資格取得までの流れ
- 03 登録講習機関での講習等について
- 04 修了審査合格後の流れ
- 05 まとめ

## 01 スカイピークとは

会社名 株式会社スカイピーク

代表取締役 高野 耀

最高顧問 藤野 公孝  
(元国土交通大臣政務官/元運輸省大臣官房総務審議官)

設立年月日 2017年5月19日

本社所在地 東京都渋谷区渋谷2-24-12  
渋谷スクランブルスクエア41F

### 業務内容

- 産業ドローン分野における新規事業開発支援
- ドローンパイロット教育カリキュラムの開発
- SKYPEAK認定ドローンスクールの展開
- 国交省認定ライセンス発行事業
- ドローン導入 / 運用支援業務
- 普及活動及び環境整備

### 提携・協定等

- 国土交通省登録管理団体/講習団体/登録講習機関
- 総務省「災害時等における無人航空機による情報収集活動（撮影等）に関する協定」
- 日本無人機運行管理コンソーシアム（JUTM）会員
- 株式会社トラジェクトリー（AI航空管制システム開発）
- 愛知県豊川市・新城市と地方創生に関する包括連携協定

 国土交通省 ※ 管理団体とは

無人航空機等の操縦者に対する技能認証を実施する団体であり、また講習を実施する民間講習団体及び講習団体を指導監督及び管理を行う、国交省航空局により承認を受けた団体です。

2017.12

講習団体として、国土省航空局登録  国土交通省

- 国土省航空局のホームページに掲載

2018.04

総務省消防庁と協定締結  総務省  
MIC Ministry of Internal Affairs and Communications

- 災害時等における無人航空機による情報収集活動（撮影等）に関する協定の締結

2018.06

管理団体として国土省航空局登録  国土交通省

- 国土省航空局のホームページに掲載

2020.06

株式会社トラジェクトリーと業務提携締結

- レベル4人材の育成輩出に向けた提携

2020.07

新型コロナウイルス感染症等の対策ガイドライン策定

- ドローンスクール分野の安全安心な事業再開モデル推進

2020.11

政府系機関へドローン研修プログラム提供

- 専用講習プログラム及び認定講師による講習実施

2020.12

浜松市春野医療MaaSプロジェクトへ参画

- 3D地図を活用した医薬品輸送実証実験

2021.03

新城市での災害時物資輸送実証実験へ参画

- 自動航行での物流オペレーション教育を地域企業へ提供

2021.08

免許制度に向けた次世代教育用機体の開発

- 社会実装に対応した人材育成に向けた取り組み

2021.11

豊川市での災害時状況把握及び物流実証実験へ参画

- 複数機の同時運用における実証実験

2022.05

愛知県豊川市・新城市と

「地方創生に関する包括連携協定」を締結

2022.11

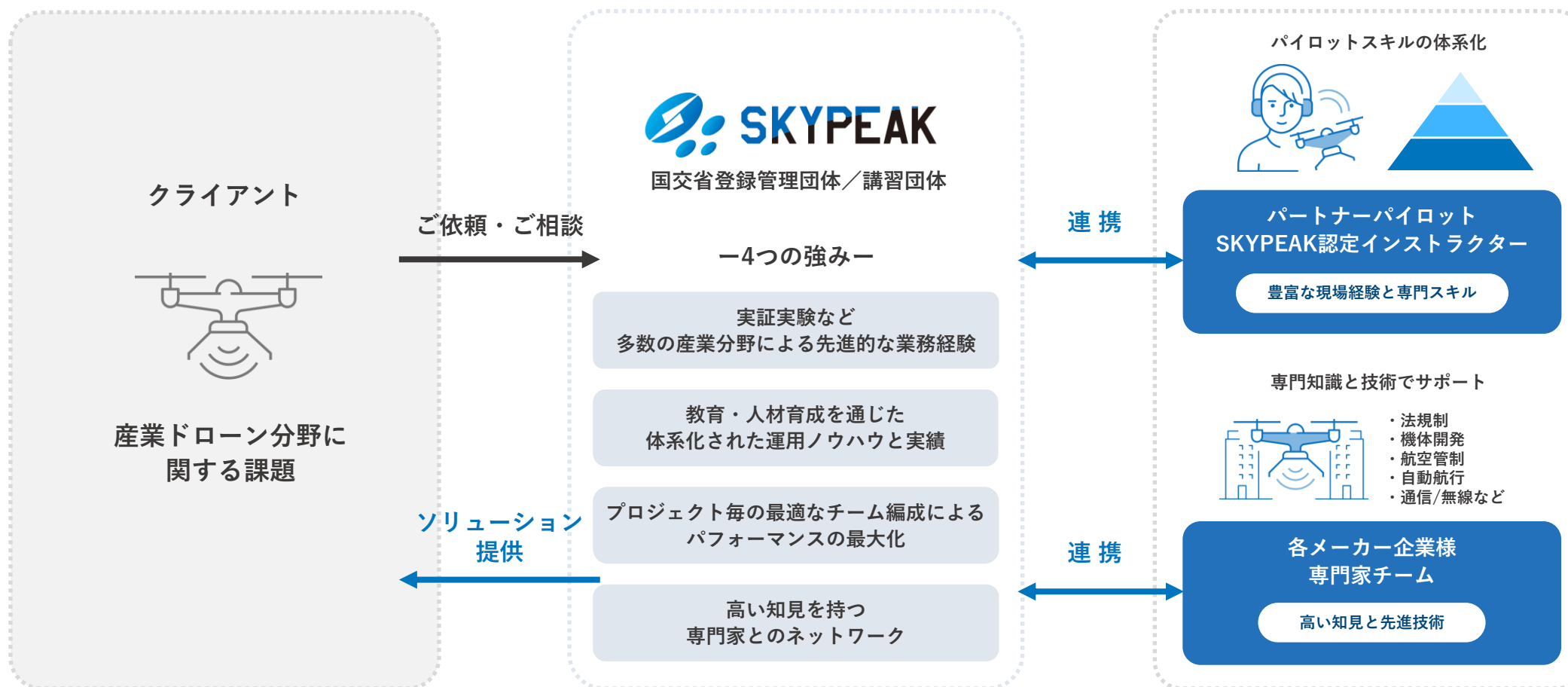
国土交通省登録講習機関として登録

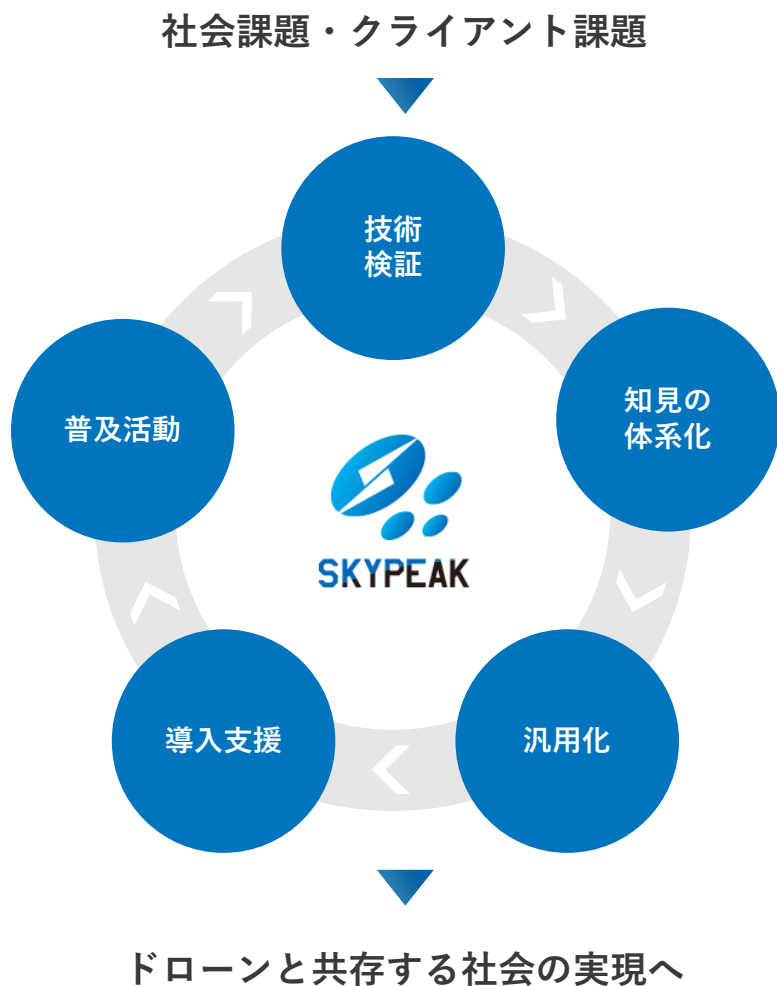
- 新制度施行日より講習可能な全国11社のうち1社

私たちは、“知見と技術と共に未来を創る”をビジョンに掲げ  
ドローンと共存する社会の実現を目指しています



国内トップクラスの実務経験を有するパートナーパイロットを中心としたチームと、  
高い知見をもつ専門家による質の高いソリューションを提供します





## 5つの事業領域

- 1** 新規事業開発

実証実験を中心とした  
新技術検証及び新規事業開発
- 2** 教育プログラム開発

社会実装に対応できる専門人材育成  
教育プログラムの開発
- 3** 操縦ライセンス事業

2022年度「レベル4飛行」の実現へ  
国交省認定資格発行と認定加盟校の展開
- 4** ドローン導入及び  
運用支援

無人航空機における  
産業別ソリューションの提供
- 5** 普及活動

社会受容性向上に向けた  
普及活動及び環境整備

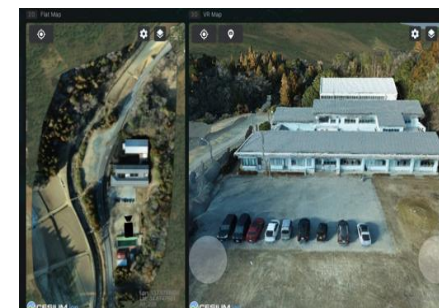


## 1 新規事業開発

私たちは実務経験豊富なパイロットチームによる、ドローン物流などの3D地図を活用した先進的な実証実験の実施や、新製品及び新サービスのテスト業務を支援しています。そして全国各地での業務実績による高い知見は、クライアント企業様の新規事業開発にも活かされています。

### 提供サービス

- ▶ PoC・実証実験支援
- ▶ 新製品・新サービス開発における支援
- ▶ 新規事業立ち上げ支援、管制システムを活用した事業開発
- ▶ パートナー開拓及び外部連携支援



- ・ ドローン物流/災害時状況把握等における実証実験
- ・ 特殊構築物や河川など点検調査分野における実証実験
- ・ 鳥獣対策における実証実験
- ・ 大型無人航空機/新製品ソフト等におけるテスト業務



事例：新城市での災害時における物流実証実験に参加

### 特徴

#### 01

物流/災害対策/点検調査分野など幅広い実証実験の経験を通じ自社実施に留まらず実証サポートも可能です。

#### 02

新製品のテスト業務は、経験豊富なパイロットがユーザー目線の調査業務を実施します。

#### 03

新規事業開発は、全国での業務経験をもとに先進的且つ実践的な知見を提供します。

## 2 教育プログラム開発

産業ドローン分野における人材育成には、実務に沿った教育プログラムが必要です。私たちは、①ユーザー企業様、②ドローンソリューション提供企業様、③メーカー企業様、それぞれに最適な教育の仕組みを提供します。弊社プログラムは、一部上場企業や政府系機関にも選ばれています。

### 提供サービス

- ▶ ドローンパイロット教育プログラムの開発
- ▶ 民間企業/自治体/官公庁向け専用講習プログラムの作成
- ▶ 各メーカー製品専用の導入講習プログラムの作成
- ▶ ドローン研修専用機体の開発



※浅野学園 国際航空専門学校 様



オリジナル教育プログラムの制作提供

### 特徴

#### 01

産業分野での人材育成で培った豊富な経験を基に先進的な知見の体系化を行います。

#### 02

ドローン活用の要件定義段階からの支援や、カスタマイズ講習と合わせたご提案も可能です。

#### 03

中国製ドローンに限らない、幅広い機体やソフトウェアでの最適なお提案が可能です。

### 3 操縦ライセンス事業

国交省登録管理団体として国交省認定ライセンスを発行しています。そして産業ドローン人材を育成する、認定ドローンスクールの展開を行っています。2022年の「免許制」「レベル4飛行実現」を見据えて、実務重視の専門プログラムで高度人材育成を推進しています。

#### 提供サービス

- ▶ 管理団体として国交省認定ライセンス発行
- ▶ 認定ドローンスクールの展開
- ▶ SKYPEAK認定インストラクターの育成
- ▶ 自動航行を前提とした高度人材育成プログラムの提供



#### 特徴

#### 01

国交省登録管理団体として、一貫して産業分野に特化した専門人材の育成を実施しています。

#### 02

総飛行時間2000h以上のマスターインストラクターを軸に展開。高いスキルと安全性を重視した、質の高い操縦者を育成します。

#### 03

目視外飛行での運用を想定した高度人材の育成に、スカイピークは2020年よりいち早く着手しています。

## 4 ドローン導入／運用支援

ドローン活用には適切な運用ノウハウが必要です。スカイピークは認定パイロットによる質の高い請負業務はもちろん、自社導入に向けた「要件定義」「機体やソフト選定」「基礎及び応用トレーニング」「安全運用マニュアル」「継続サポート」までワンストップな支援を行います。豊富な実務及び導入経験をもとに、請負業務～内製化～運用成功へ、貴社の目的達成に向けて最適なお提案をいたします。

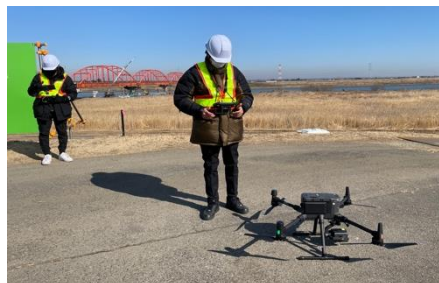
### 提供サービス

▶ 産業ドローンにおけるコンサルティング/導入支援

▶ SKYPEAK認定パイロットによる教育/請負業務

▶ 運用マニュアルの作成及び提供

▶ ドローン導入における補助金申請支援



STEP1 要件定義

STEP2 導入

STEP3 運用

STEP4 展開

- 空撮（TV・CM・MV・花火・特殊撮影など）
- 建物点検（屋根・ホテル・マンションなど）
- インフラ点検（鉄道、風力発電施設、プラント、橋梁など）
- 測量（写真測量・レーザー測量・3D地図生成など）
- 災害時活用業務（災害時状況把握、映像伝送など）
- ドローン講習（基礎/応用/自動航行コースなど）

### 特徴

#### 01

実践型コンサルティングサービスにより、お客様の根本的な課題解決に貢献します。

#### 02

現場を重要視した伴走型支援により、お客様のドローン運用を継続サポートします。

#### 03

専門分野毎に質の高いパイロットを保有。プロジェクト単位で最適なコストでの業務支援が可能です。

## 5 普及活動

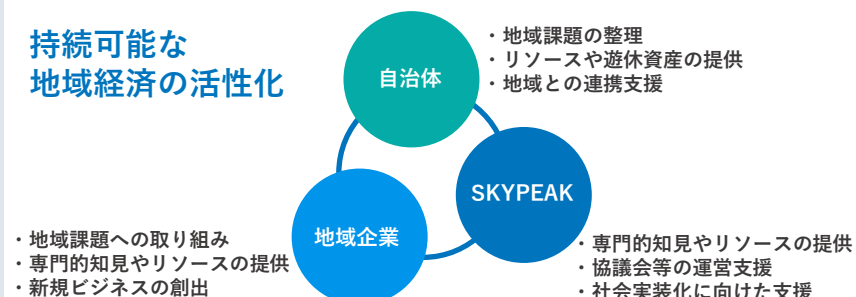
私たちはドローンを活用した地方創生を支援します。地方自治体と空の産業を通じた官民連携支援、またドローン人材育成に必須である、訓練場や飛行場の環境整備を行います。そして、更なる社会受容性向上に向けて、全国の団体や学校等での講演活動や情報提供を行います。

### 提供サービス

- ▶ 地方創生に向けた官民連携のドローン協議会運営支援
- ▶ 空のインフラ活用に向けた運用整備支援
- ▶ 実証フィールドや飛行訓練場における規約作成及び運用整備
- ▶ イベント／講演などの地域普及活動

### 地方創生に向けたスカイピークの取り組み

#### 持続可能な 地域経済の活性化



### 配布用ハンドブック



### 特徴

#### 01

講演やイベント、ハンドブック制作など多面的にドローン産業の普及を行います。

#### 02

管制システムの活用を通じて、離発着地点や空の環境整備についても支援します。

#### 03

実証フィールドや飛行訓練場の整備について、現場目線の知見を通じて支援します。

## 02 国家資格取得までの流れ

## ※登録講習機関で講習受講の場合



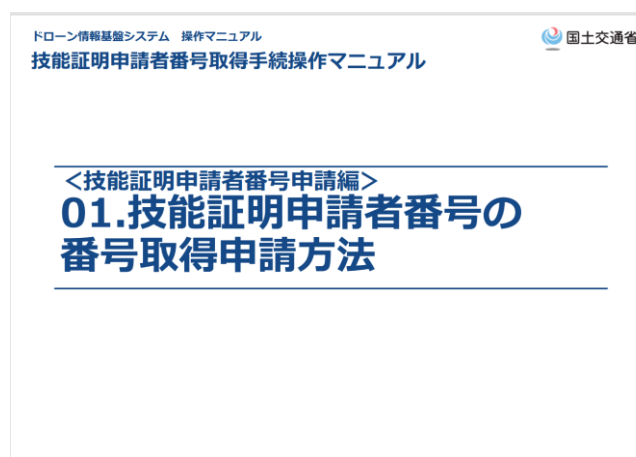
DIPS上で、技能証明申請者番号の取得を行います。

DIPSのサイト



「技能証明申請者番号」は  
DIPSのサイトから取得が可能です。

操作マニュアル



国土交通省発行の  
「技能証明申請者番号取得手続操作  
マニュアル」があります。

事務所コード

例) T0018001

登録講習機関の事務所コードは、  
「T0018001」などの羅列となります。  
(例：スカイピーク社の場合)



## 注意事項

## 注 1

法人単位ではなく  
個人単位で取得手続きを行います。



## 注 2

登録講習機関で受講される方はご自身で  
「登録講習機関 事務所コード」の入力が  
必須になります。



事務所コード  
例) T0018001

受講者側で紐づけが完了していないと、登録講習機関による修了者登録の際に「当該番号へのアクセス権がありません」と裏側でエラーが表示されます。講習受講者は入力をお忘れのないようお願いいたします。

講習内容を選択の上、各登録講習機関で指定された、入学申請書（※名称仮）をご提出いただきます。  
学科講習、実地講習、修了審査を実施します。

入学申請書

SKYPEAK

申込日 年 月 日

受講コース	二 等		一 等	
	初学者	経験者	初学者	経験者
	<input type="checkbox"/> 基 本	<input type="checkbox"/> 基 本	<input type="checkbox"/> 基 本	<input type="checkbox"/> 基 本
	<input type="checkbox"/> 目視外	<input type="checkbox"/> 目視外	<input type="checkbox"/> 目視外	<input type="checkbox"/> 目視外
	<input type="checkbox"/> 夜 間	<input type="checkbox"/> 夜 間	<input type="checkbox"/> 夜 間	<input type="checkbox"/> 夜 間
	※保有資格記載欄			
技能証明申請者番号(10桁)				
氏 名	フリガナ			
生年月日	年 月 日	性 別	男性・女性	
住 所	〒			
電話番号				
メールアドレス				
団体でお申込みの方				
団体名				

### 入学申請書例

#### 希望コース

一等無人航空機操縦士、二等資格無人航空機操縦士

#### 種 類

初学者、経験者

#### 限定解除

目視内、日中、25kg未満

## POINT

## 「初学者」と「経験者」の定義について

航空局  
よくある質問  
回答より

初学者、経験者の定義は一律に設けておりません。講習時間数が異なるコースになりますが、公平性を担保するため、最後の修了審査は同じ内容を受けていただく必要があります。自信がある方は経験者向け、自信がない方は初学者向けを受講いただくことを想定しています。最終的には受講者が選択するものと考えております。

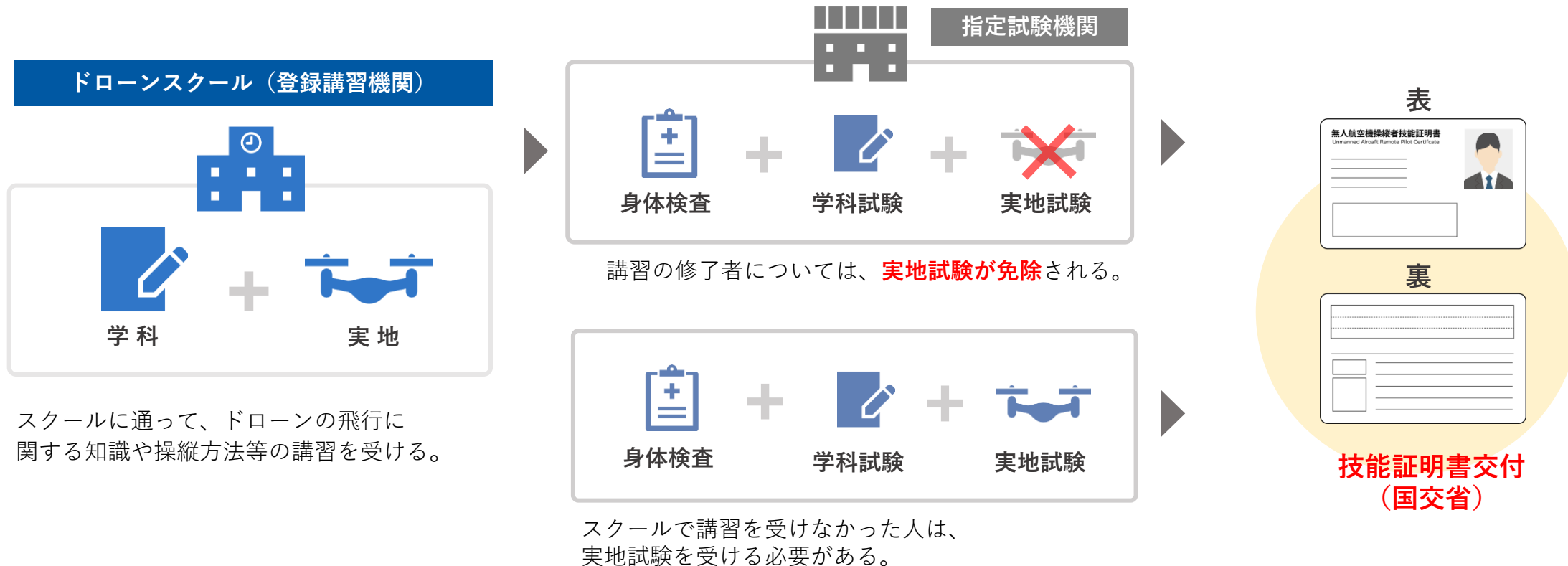
## ▼ つまり

「初学者」と「経験者」の入学における線引きについては、登録講習機関を運営する事業者が通常定めています。そのため、受講を検討されている方は直接各スクールにお問い合わせ下さい。なお、有効期限内の航空局HP掲載団体発行の民間技能ライセンス保有者を「経験者」の扱いとする場合が、比較的によく見受けられます。

## 03 登録講習機関での講習等について

## 実施概要

どの講習機関も無人航空機を飛行させるのに必要な心得、規制や法令事項、機体の性能やシステム、操縦者に求められる運航体制など、最低限の知識要件及び学科試験において求められる要素が記載されている、航空局策定の「無人航空機の飛行の安全に関する教則」を基に講習を実施します。その上で、各登録講習機関はこれまで培った知見やノウハウを活かした独自の講習テキストを作成・使用して受講生に実施をしています。



## 講習科目及び講習時間（学科講習）

科 目		一等資格		二等資格	
		初学者	経験者	初学者	経験者
1	無人航空機操縦者の心構え	3h	1h	3h	1h
2	無人航空機に関する規則				
3	無人航空機のシステム	5h	2h	3.5h	1.5h
4	無人航空機の操縦者及び運航体制	6h	4h	2h	1h
5	運行上のリスク管理	4h	2h	1.5h	0.5h
合 計		18h	9h	10h	4h

※上記は、国の定める最低講習時間であり、登録講習機関により実施時間は異なります。

## 学科講習の実施イメージ



講習テキスト例：株式会社スカイピーク制作

### 3-1 航空法全般

#### 3.1.1 航空法に関する一般知識

##### (1) 航空法における無人航空機の定義

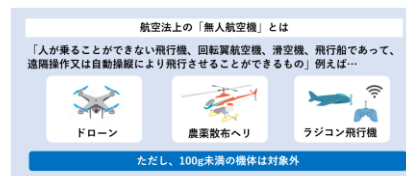
航空法において、「無人航空機」とは

1. 航空の用に供することができる飛行機、回転翼航空機、滑空機及び飛行船であって構造上人が乗ることができないもののうち、
2. 遠隔操作又は自動操縦（プログラムにより自動的に操縦を行うことをいう。）により飛行させることができるものであり、
3. 重量が100g以上のものを対象としています。

を対象としています。

##### 【構造上人が乗ることができないもの】

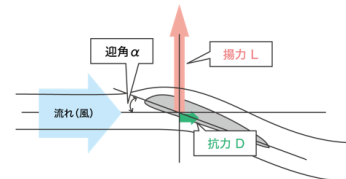
①の「構造上人が乗ることができないもの」とは、単に人が乗ることができる座席の有無を意味するものではなく、当該機種の概格的な大きさや潜在的な能力を含めた構造、性能等により判断されます。



### 4-3 飛行原理と飛行性能

#### 4.3.1 無人航空機の飛行原理①

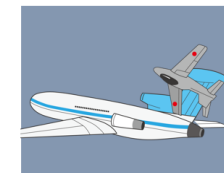
無人航空機が飛行するためには、重力に対抗する上向きの力を必要とします。飛行機では主翼に発生する揚力と重力に対抗します。一方、飛行機には飛行速度と逆向きに空気抵抗である抗力が働きますが、それに抗するために回転翼であるプロペラ等による揚力が必要になります。一方、回転翼航空機（ヘリコプター）及び回転翼航空機（マルチローター）においては、重力に対抗する上向きの力はプロペラ（ローター）による揚力によって生み出されます。機体が運動すると、機体には飛行機と同様に抗力も作用しますが、推力の大きさを重力以上にし、機体姿勢を変化させてこれに抗します。これら機体に働く力が釣り合ったとき、機体は速度と姿勢を一定とする定常飛行（釣り合い飛行）を行います。



### 6-1 運航リスク評価及び最適な運航の計画の立案の基礎

#### (1) カテゴリーIII飛行の飛行経路によるリスク評価について（一等）

カテゴリーIII飛行を行う場合の飛行経路については、経路上にどれくらい第三者が存在する可能性があるのか、機体に不具合が発生した場合等に地上の第三者がどれくらいリスクに曝されるのか、経路上において有人航空機の飛行が想定されるのかなどを評価し、その結果に基づき、飛行経路を設定するとともにリスク軽減策を講じる必要があります。



参考）飛行経路を逸脱して大型機と衝突事故を起こした事故事例  
1971年等石上空での空中衝突事故、飛行経路を逸脱し航空自衛隊F86が全日本空輸のボーイング727と接触事故を起こした。双方とも墜落した。自衛隊機の乗員は脱出に成功したが、機体に損傷を受けた旅客機は空中分解し、乗客155名と乗員7名の計162名全員が死亡した航空機事故。

## 講習科目及び講習時間（実地講習）

科目	一等資格								二等資格							
	初学者				経験者				初学者				経験者			
	基本	限定解除 (目視内)	限定解除 (日中)	限定解除 (25kg未満)	基本	限定解除 (目視内)	限定解除 (夜間)	限定解除 (25kg未満)	基本	限定解除 (目視内)	限定解除 (日中)	限定解除 (25kg未満)	基本	限定解除 (目視内)	限定解除 (日中)	限定解除 (25kg未満)
1 飛行計画、リスク評価結果及び飛行環境の確認	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要
2 運航体制、手順、役割分担等の管理の確認	要	要	要	要	要	要	要	要								
3 機体の状況、操縦モード、バッテリーの確認	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要
4 フェールセーフ機能の適切な設定、飛行経路の設定自動飛行の設定	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要
5 基本操縦（手動）	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要
6 基本操縦（自動）		要				要				要				要		
7 基本操縦以外の機体操作	要	要	要	要	要	要	要	要		要				要		
8 様々な運航形態への対応	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要
9 安全にかかわる操作	要				要				要				要			
10 緊急時の対応	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要	要
11 飛行後の記録、報告	要				要				要				要			
	50h以上	7h以上	1h以上	2h以上	10h以上	5h以上	1h以上	1h以上	10h以上	2h以上	1h以上	2h以上	2h以上	1h以上	1h以上	1h以上





### 合格基準について

#### 二等無人航空機操縦士に係る 修了審査

100点の持ち点からの減点式採点法とし、各審査科目終了時に、  
**70点以上**の持ち点を確保した受講者を合格となります。

#### 一等無人航空機操縦士に係る 修了審査

100点の持ち点からの減点式採点法とし、各審査科目終了時に、  
**80点以上**の持ち点を確保した受講者を合格となります。

### 減点適用基準について

各審査項目において、減点基準が設けられています。不合格、10点減点、5点減点、1点減点など、それぞれ一定の基準により定められており、試験員（修了審査員）は規定に沿って、採点を行います。  
※飛行前点検、飛行後の記録など特に重要性・安全性に求められる部分は減点が多い傾向となっております。

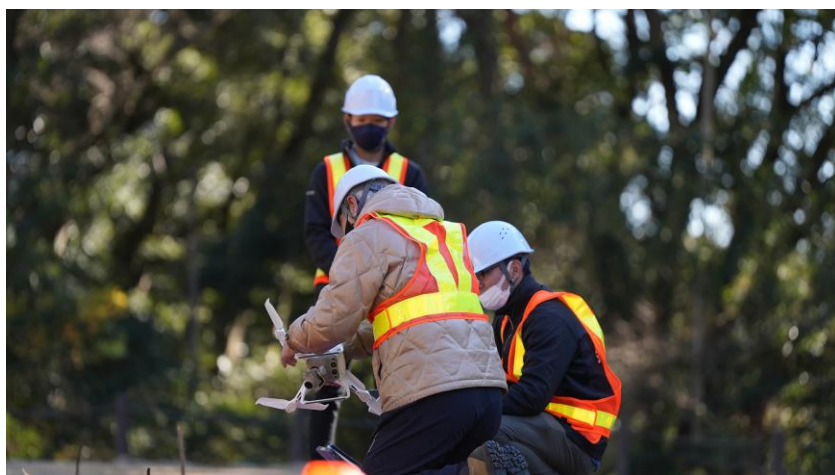
※各試験科目に対して、一連の修了審査を実施します。目安40-60分/人程度となります。

### 修了審査の実施概要

1	机上審査	飛行計画の作成
2	口述審査（飛行前点検）	飛行空域及びその他の確認／作動前点検／作動点検
3	実技審査	スクエア／8の字／異常発生時飛行等の様々な飛行
4	口述審査（飛行後の点検と記録）	飛行後点検／飛行後の記録
5	口述審査 （事故、重大インシデントの報告及びその対応）	事故又は重大インシデントの説明／事故等発生時の処置の説明

※指定の「日常点検記録の様式」、「飛行記録の様式」に記載を行う必要があります。（参照）通達：無人航空機の飛行日誌の取扱要領

## 修了審査イメージ例



## 04 修了審査に合格後の流れ

登録講習機関での修了審査に合格することで  
 指定試験機関の現地試験が免除になります。  
 免除における手続きは、**指定試験機関の試験申込システム**上で、  
 下記を提出する必要があります。

## 必要情報

- ①講習修了証明書のデータ
- ②講習修了証明書番号

- ※ 修了証明書の発行の際に「技能証明申請者番号」が必要
- ※ 登録講習機関において、付番及び登録手続きを実施しますので、事前に紐づけ作業をお忘れのないようお願いいたします。

様式1

**無人航空機講習修了証明書**


第 TC00182301XXXX 号  
 令和5年1月6日 発行  
 令和6年1月5日まで有効

航空 太郎 殿  
 技能証明申請者番号：22120018XX

航空法第132条の50の規定に関し、登録講習機関が行う無人航空機講習を修了したことを証明する。

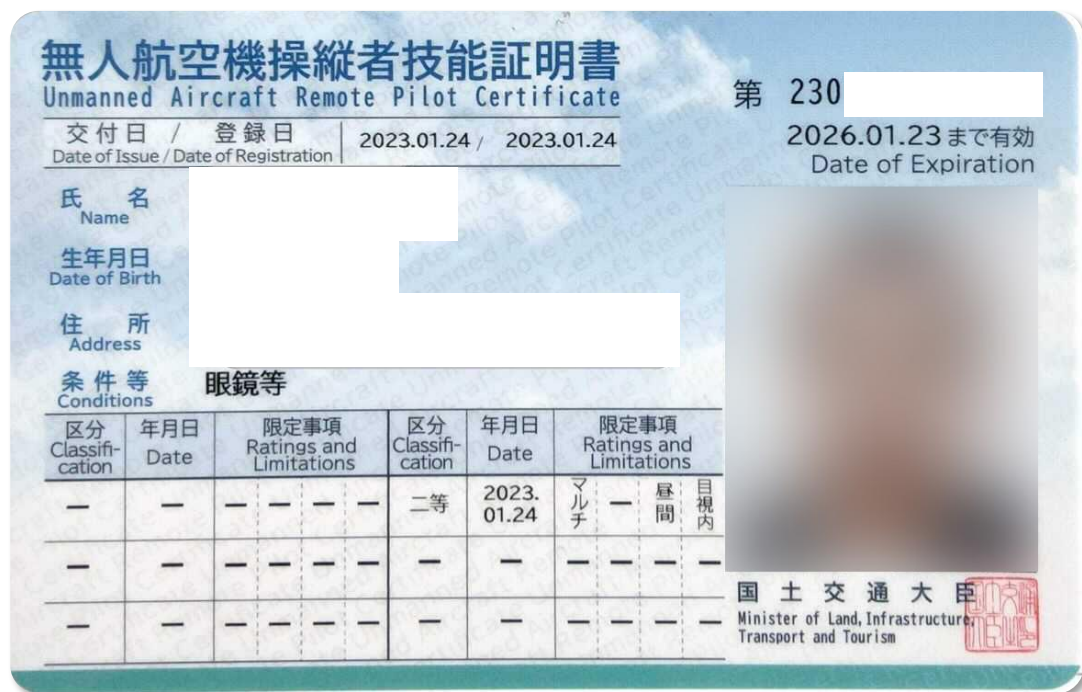
区分	限定事項（解除）											
	マルチ	25kg	昼間	目視内	ヘリ	25kg	昼間	目視内	飛行機	25kg	昼間	目視内
一等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
二等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

株式会社スカイピーク  
 登録講習機関番号：0018



修了証明書のイメージ例

国家資格：二等無人航空機操縦士の実際のライセンスイメージ



## 05 まとめ



## スカイピークは

2017年創業期より一貫して、**産業実装に向けた教育・人材育成を軸に事業を展開**しており、講習団体、管理団体としての経験を活かし、**2022年12月5日施行日より登録講習機関としての講習事務を開始**しました。

登録講習機関業務においても、**空の安全安心な利活用推進に向けた操縦士育成に寄与**するため、**関係機関や専門家等と連携したサービス及び情報提供**を行います。

**管理団体での運営経験**と、豊富な現場経験を活かした、**登録講習機関における運営面サポートや講習カリキュラムの提供**についても行ってまいります。

無人航空機事業に関わる皆様方のご協力と共に、次世代の人材育成のみに留まらず、**社会受容性向上への取り組み**も引き続き行って参ります。





最後までお読みいただき、ありがとうございます。

登録講習機関の運営サポートやカリキュラム提供のご相談はこちら



Webフォームでのお問い合わせ

下記URL、もしくはQRコードからアクセスください。

<https://japandronelicense.com/inquiry/>



登録講習機関:Skypeak Drone School

※ドローンスクール専用サイト

<https://japandronelicense.com/lp2/>



コーポレートサイト

<https://japandronelicense.com/>

